

2012(平成24)年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものである。
2012(平成24)年度は、塾長賞に2件2名が選ばれ、3月の卒業式において表彰された。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞審査委員会委員長

学生総合センター長・文学部教授

伊東裕司いとうゆうじ



慶應義塾では、正課の学業のみではなく、体育活動、芸術・文化活動、社会活動などの幅広い活動を通して幅広い人間を育てるという教育理念に基づき、課外活動を推奨してきており、毎年多くの塾生諸君が課外活動において際立った成果を上げる活躍をしています。このような活動を顕彰するために、慶應義塾ではいくつかの賞を設け、優れた成果を上げた課外活動を表彰しています。

それらの賞の中で、体育活動以外の課外活動を対象とするものが、塾長賞・塾長奨励賞です。学術・芸術・社会活動・文化活動などにおいて学生の範となる活躍をし、「当人の荣誉であるばかりでなく、慶應義塾の存在自体の光輝となる」塾生(大学生・大学院生)を表彰するものです。2012(平成24)年度は、9件の推薦が得られ、

慎重な選考の結果、2件2名の塾生が塾長賞の荣誉に輝きました。表彰は、去る3月22日に行われた2012(平成24)年度大文学部卒業式においてなされ、清家篤塾長から受賞者の代表に表彰状が手渡されました。

私は、塾長賞・塾長奨励賞の選考に長く関わっていますが、いつも塾生諸君がさまざまな領域で素晴らしい活躍をされていることに感心するとともに喜びを感じています。自分の専門とする領域の勉学のみではなく、それ以外の活動にも力を入れ、優れた成果を上げることが、人間としての幅を大きく広げ、これからの人生をより豊かなものにするでしょう。受賞者に続いて、多くの塾生諸君がさまざまな領域で活躍をされることを期待します。

塾長賞

■第51回奨励会三段リーグ戦で優勝し四段に昇段、プロの将棋棋士となる

理工学部数理科学科4年

上村 かみむら

巨君 わたる



日本将棋連盟主催の第51回奨励会三段リーグ戦において優勝し、2012（平成24）年10月1日に晴れてプロの将棋棋士となった。将棋のプロ棋士になるにはプロ棋士養成機関である奨励会に入り、6級から三段まである奨励会において三段まで昇段した後、半年ごとに行われる三段リーグで優秀な成績を上げ四段に昇段しなければならない。奨励会には年齢制限もあり、四段昇段は原則として毎年4名という非常に狭き門である。同君がこの狭き門をくぐり抜けプロ棋士となったことは高く評価でき、慶應義塾の誇りとするところである。

■東日本大震災の復興支援活動におけるボランティア・コーディネーションの成果が評価され「人間力大賞2012」を受賞

理工学研究科修士課程2年

島田 しまだ 悠司 ゆうじ 君



東日本大震災の復興支援活動におけるボランティア・コーディネーションの在り方にイノベーションをもたらした。その成果が評価され、公益社団法人 日本青年会議所主催「人間力大賞2012」において復興創造特別賞を獲得した。東日本大震災でのボランティア活動の低迷が指摘される中、独自の自由な発想で革新的な学生ボランティアの調整システムを運用し、学生ボランティアの被災地派遣に多大な貢献をしただけでなく、ボランティア・コーディネーションの在り方自体に革新をもたらしたことは高く評価でき、慶應義塾の誇りとするところである。

※学年はいずれも受賞時

塾長奨励賞

該当なし